

個別施設計画

策定年月	H30.1
------	-------

施設名	早島支援学校			所在地	都窪郡早島町早島4063番		
敷地面積	41,709.12 m ²			棟数	23 棟 (計画記載対象 6 棟)		
延床面積	8,994.38 m ²				※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	特別支援学校教育のため						
【想定される自然災害】							
予想震度		6弱		津波		-	
				浸水		-	
建築規制	市街化区域、第一種中高層住居専用地域 建ぺい率60%、容積率200%						
エネルギー使用量 (2016年度)	電気	ガス	水道	燃料 (灯油・A重油)	灯油:10,065 A重油:12,000		
	290,608 kwh	1,956 m ³	5,485 m ³	22,065 ℓ			
管理上の特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 早島町避難所協定による避難場所						

1 施設内建物の概況

名 称	本館棟(1棟)1-1	教室棟(3棟)1-3	本館棟(11棟)1-5
築年(西暦)	1974 年	1974 年	1981 年
構 造	鉄筋コンクリート造 3 階	鉄筋コンクリート造 2 階	鉄筋コンクリート造 3 階
建築面積	531.20 m ²	346.07 m ²	131.65 m ²
延床面積	1,530.85 m ²	632.15 m ²	368.70 m ²
主要な用途 (室名等)	第1職員室 理科室 生活訓練室	情報教育室 生活訓練室	事務室 調理教室 音楽室
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 電力設備(非常用発電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	電力設備(受変電設備) 電力設備(非常用発電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	外壁	該当なし	外壁

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	肢体不自由部棟(21棟)10,11,12	体育館棟(28棟)16	校舎棟(32棟)18
築年(西暦)	1996年	2003年	2005年
構造	鉄筋コンクリート造 2階	鉄骨造 2階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	887.18 m ²	829.38 m ²	873.98 m ²
延床面積	1,684.96 m ²	963.80 m ²	2581.64 m ²
主要な用途 (室名等)	自立活動室 生活訓練室 食堂	体育館	第2職員室 生活訓練室 会議ボランティア室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備 昇降機	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備 昇降機
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	外壁	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜がある場合は不適 ※5 地盤沈下がある場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
本館棟(1棟)1-1	長寿命化改修を行う。
教室棟(3棟)1-3	・設備等の定期更新を行う。 ・長寿命化改修を行う。
本館棟(11棟)1-5	長寿命化改修を行う。
肢体不自由部棟(21棟)10,11,12	設備等の定期更新を行う。
体育館棟(28棟)16	予防保全を図る。
校舎棟(32棟)18	予防保全を図る。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

- 1 設備等更新
劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
- 2 長寿命化改修
屋上防水等を行うほか、内部・外部の改修を行う。
(1棟、11棟)2018年度施工
(3棟)2022年度以降設計・施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
本館棟(1棟)1-1	長寿命化改修		施工 5								
教室棟(3棟)1-3	設備等の 定期更新						非常用 発電機				
	長寿命化改修							設計・施工 1			
本館棟(11棟)1-5	長寿命化改修		施工 1棟に含								
肢体不自由部 棟(21棟) 10,11,12	設備等の 定期更新									エレベーター	屋上防水
体育館棟(28 棟)16	予防保全	予防保全を図る。									
校舎棟(32棟) 18	予防保全	予防保全を図る。									

4. 概算費用

・総額 12億円(長寿命化改修 10億円、設備等更新 2億円)

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R4.3	教室棟(3棟)において、設備等の定期更新を追加及び長寿命化改修工事のスケジュールを変更 肢体不自由部棟(21棟)において、設備等の定期更新のスケジュールを変更
R7.3	教室棟(3棟)において長寿命化改修工事のスケジュールを変更 肢体不自由部棟(21棟)において、設備等の定期更新を追加
R8.3	肢体不自由部棟(21棟)において、設備等の定期更新を追加